

長根だより

令和8年5月15日

5月号

長根小 学校通信

【校訓】 強く 明るく よく励む

カラフルを支えるもの

瀬戸市立長根小学校長 三宅 勝之

4月に「カラフル」を今年のキーワードとして子どもたちに伝えました。一人一人の違いを大切にしながら、それぞれのよさを発揮できる学校を目指して、新しい1年が始まりました。

新学期がスタートして1か月がたち、教室では少しずつ子どもたちの「カラフルな姿」が見られるようになってきました。自分の考えをノートに書いて発表したり、友達の意見に「なるほど」とうなずいたりしながら、学びが広がっていく様子があちこちで見られます。

一方で、こうした「カラフル」は、ただ自由に表現するだけで生まれるものではありません。例えば、授業の中で自分の考えを伝えようとしたとき、言葉がしっかり分かり、文章として書いたり話したりする力が必要になります。音読を繰り返して言葉に慣れたり、漢字を正しく使えるようになっていたりすることで、初めて自分の思いを相手に伝えることができるようになります。また、算数では、計算の力が身に付いていることで、自信をもって学びに向かい、友達と考えを比べたり深めたりすることもできるようになります。

日々の教室で行っているこうした基礎的な学習は、一見すると地味に見えるかもしれませんが、この積み重ねこそが、子どもたち一人一人のカラフルな考えを外に広げていく力になります。

また、生活の中でも同じことが言えます。朝、元気よくあいさつを交わすこと、廊下を落ち着いて歩くこと、友達にやさしく声をかけることなど、当たり前のように見える行動が、実はとても大切な基礎となっています。

例えば、教室で安心して話し合いができるのは、「話を聞こう」「相手を大切にしよう」という空気があるからです。その空気は、日々のあいさつや言葉づかいといった、基本的な積み重ねの中で育っていきます。

こうした基礎・基本がしっかりしているからこそ、子どもたちは安心して自分の考えを出し、友達と関わりながら学びを深めていくことができます。これからも、子どもたち一人一人のカラフルなよさがのびやかに発揮されるよう、その土台となる基礎・基本を大切にしながら、日々の教育活動を積み重ねてまいります。

また、ご家庭や地域での日々のあいさつや励ましの言葉かけなど、身近な積み重ねの中で育まれる力も、子どもたちの学びや成長をより確かなものにしていきます。引き続き、家庭・地域と学校が力を合わせながら、子どもたちのカラフルな成長を支えてまいりたいと考えております。今後ともよろしく願いいたします。